

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA		THE YS MENS CLUB OF ATSUGI
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED IN 2004		4 - 1 6 - 1 9 NAKACHO AT SUGI KANAGAWA JAPAN 〒 2 4 3 - 0 0 1 8 TEL 046(223)1441 担当主事 吉永貴弘

**2013年7月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第107号**

主 題 万年クラブ会長 ささやかな祈りがあるとすれば、自分以外の周囲に心を寄せる  
池田湘南・沖縄部部長 みんなで楽しく奉仕  
渡辺東日本区理事 いざ立て  
アジア地域会長 未来を始めよう、今すぐに  
国際会長 全ての世界へ出て行こう

**今月の聖句（今月の強調月間 キックオフ）**

**新しい歌を主に歌え、全地よ、主に歌え。**

**日から日へと、御救いの良い知らせを告げよ。**

**詩篇 96 篇 1～2 節（選 川口知幸）**

**5月例会報告**

**「徳川将軍家を支えた会津藩主 保科正之について」**

**講師 今野秀司さん**



今野さんは無類の歴史愛好家で、退職後「東京散歩」「多摩川源流から河口までの旅」など主宰されています。

「八重の桜」の舞台となる会津藩の初代藩主保科正之は350年前の江戸時代の人。父は二代将軍秀忠、母は大奥の下女 静。有名なヤキモチ焼きの秀忠の妻お江与が許すわけもなく、秀忠の重臣たちの密かな計らいで、武田信玄の娘見性院に養育された。

後に、見性院の縁でやはり武田家元家臣信濃高遠藩主保科正光が預かり、養育、21歳で元服、高遠藩主として江戸城に登城、家光初めて異母弟を知る（寛永8年、1631年）。

翌9年秀忠死去、正室お江与は寛永3年死んでいるが、秀忠は生涯正之に会うことはなかった。また家光も異母兄弟と知っても、直ちに待遇を改めることな

く、注意深く正之の言動を見守っていたものと思われる。そこには将軍家への不遜とも思われる言動が一因となり家光と確執のあった家光の実弟忠長が幕命により寛永10年自刃のこともあり、家光は正之の登用には慎重を期したものと思われる。

正之の一家臣として将軍を支えようとする謙虚な姿勢に、家光は人格を見定め、徐々に正之を登用。

家光は死に臨んで、枕頭に正之を呼び寄せ「宗家を頼みおく」と言い残した。これに感銘した正之は会津家訓十五箇条を定めその第1条に「会津藩たるは将軍家を守護すべき存在であり、藩主が裏切るようなことがあれば、家臣は従ってはならない」と記した。以後会津藩は主従よくこれを守り、幕末藩主容保は最後まで薩長軍と戦った。

正之の業績は、明暦の大火（別名振袖火事）の後処理、藩校開校（のちの日新館）など多々。（小林）

聖句選者一言

新年度に当たり気持ちも新たに新しい歩みを始めます。主の御名を旗印に主の救いに強められ信仰と希望と愛にみちた新しい日々を歩んで行きたいものです。（川口 記）

<b>例会データ</b>	<b>6月</b>	<b>在籍会員 19人</b>
会 員	14人	メイキャッツプ済み 出席率
ビジター	人	
ゲ ス ト	1人	
合 計	15人	

<b>例会のご案内</b>	会 長	万年 孝助
原則として第4水曜日18時 半から2時間 お問い合わせ先 Tel 046-223-1441 吉永貴弘	副会長	石井 芳隆
	副会長	谷口 四郎
	副会長	田中 勝子
	書 記	千葉 裕子
	会 計	岩淵 正弘

## 第16回 東日本区大会



6月8日～9日被災県岩手県花巻温泉千秋閣でのホストクラブもりおかクラブ、協力北東部、仙台3クラブで開催の東日本区大会に集うもの460人あまり、厚木クラブは8人で出席してきました。従来と異なって、いろいろ学んでこなくてはとの意気込みで参加。参考になるものはなんでも頂いてということで懇親会のお品書きも大事に頂いてきました。

**忘れてたまるか3. 11あのとときの絆を!**の大会スローガン通り、陸前高田市の戸羽市長のなかなか復興事業が進まぬ中でも必ず世界の美しい街を作ってみせるぞという力強いお話にワイズの思いを伝えるかのような万雷の拍手を贈りました。

理事就任式の司式竹内元国際会長の米寿を迎えられて、なお音吐朗朗な式辞、毎回のことですが、心を強く揺さぶられました。十勝のアジア大会を成功に導いた渡辺新理事の就任挨拶にも深い感銘を受けました。本当に素晴らしい大会で、私どもにとって貴重なお手本をいただき、もりおかクラブの皆様から感謝申し上げます。(田口 記)

### 陸前高田市高田高校仮設住宅訪問

大会終了後昨冬、現地からの要請で、多くのクラ



ブからのご協力を頂き、冬着をお送した高田高校仮設住宅群を訪問、到着が15時ということもあり、おやつにと美味しい手製の盛りたくさんの品々を恐縮しながら美味しくいただき、交歓の一時を持つことができました。まだまだ続く苦しい生活にもめげずに明日をめざして活躍される皆さんとの絆をさらに強め、少しでもお役に立てばとの思いを強くして16時帰途につきました。市長が強調された復興のシンボル一本松を車中から眺め、初めての道、言うことを聞かぬナビ、それでも新花巻駅にほとんど予定どおりの到着。万年会長の素晴らしい運転にみんなで心からの賛辞を送りました。(田口)

ブからのご協力を頂き、冬着をお送した高田高校仮設住宅群を訪問、到着が15時ということもあり、おやつにと美味しい手製

## 新刊紹介

松本市市長 菅谷昭医師著

### 「原発事故と甲状腺がん」

幻冬舎ルネッサンス新書 定価 838円+税

本年三月横浜 YMCA で行われた保育事業講演会で5年半チェルノブイリでの原発事故による健康被害者の医療救援活動に携わられた菅谷先生が「放射線被曝から子供を守るために」という講演をされました。

その折詳しいことは近日発売予定の著書を読んでほしいとのことでした。

その本が5月30日発売されました。一読したところをご紹介しますと

「福島県が行っている18歳以下の小児の甲状腺検査の結果に放射線事故の影響なしとの説に先生は異議。避難指示解除の基準年間被曝線量20ミリシーベルトでは大人でも危険、まして妊産婦、子供は住まないほうがいいと。

内部被曝のこと、まだ十分に解明されていないが、チェルノブイリでは1ミリシーベルト以下の低線量地域でも健康被害が出ており、疫学的には内部被曝の可能性が指摘されている。放射性物質が体内に入ると少量でも内部被曝する可能性があり、内部被曝にしきい値はない。従って食べ物に気を付け、放射線障害に打ち勝つ強い体を作ることが大切で、ベラルーシでは総合ビタミン剤などを積極的に子供にあたえているようで、サプリメントや免疫賦活剤などを利用するのもひとつ方法だと思う。また放射性物質が体内に蓄積されないよう食物繊維やペクチンなど適量を摂ることが大切とのこと。」

私にとっては大変啓発されるところの多い本です。

(田口)

## ☆7月活動予定

7月13日 第2例会

7月23日 うたごえひろば

厚木 YMCA 別館 7階 14時から1時間半

13時半から30分おしゃべりタイム

7月24日 厚木クラブ第1例会 新役員就任式

北村さん、吉永さん転入会式

7月27日 湘南・沖縄部評議会 新年度第1回

横浜中央 YMCA 14時から